

創立144周年

学校便り

令和2年度 No.10



進取

令和3年2月24日発行

阿久根市立阿久根小学校
25学級 児童数447名

阿久根のすばらしさⅡ

～「阿久根かるた」ができました～

校長 秦 明夫

「いにしへの道を聞いても唱えても、我が行いにせずばかいなし」これは戦国武将の島津日新公が作った『日新公いろは歌』の中の一首です。「昔からの立派な教えをいくら聞いても、また、どれだけ口先で唱えても、自分で実行しなければ何の役にも立たない」という意味の歌だそうです。

かなり前のことになりますが、日新公由来の地である南さつま市の小学校で学んだ私の娘も、家庭でよくこのいろは歌を口ずさんでいました。当時このいろは歌を、南さつま市の学校が子供たちの教育活動に取り入れており、娘の学級でもいろは歌のかるたとりなどを行っていたようです。

縁あって6年前にも再び南さつま市の学校に勤めることになりました。そして、このいろは歌が変わらず行われていたのをなつかしく思う事でした。47首の歌にこめられた日新公の思いは、現代の人の心を打つものがたくさんあります。

ですから阿久根の子供たちにも何か似たような経験ができるといいのだが・・・そんな思いをずっともっていました。そのような中、今回阿久根市教育委員会の企画のもと、市内小中学校の児童生徒や教職員が協力して「阿久根のかるた」を作成することができました。先週、教育委員会の方が来校され、かるたの贈呈式も行いました。

この「阿久根のかるた」は五・七・五の三行詩で、三行目の頭に主要な文字を入れてあるのが特長です。また、阿久根市の恵まれた自然や歴史・文化・芸能といった内容を歌に取り入れています。その中のいくつかを紹介します。

【自然】 まだ岩に うぬぼれ天狗が **跳**んだ跡 (天狗の足跡と呼ばれる巨石)

【人物】 脇本の偉人 電信の父 **寺**島宗則 (阿久根市が誇る偉人)

【食文化】 雄大な 海の恵みよ **伊**勢えび祭り (県内外で有名な伊勢えび祭り)

【芸能】 伝統の さむらい気分 **三**尺棒 (山下地区や尾崎地区などに伝わる三尺棒おどり)



この「阿久根のかるた」を活用して阿久根の素晴らしさを再発見するきっかけにしてほしいと思います。以前も記しましたが、これまで本校の子供たちには、母校をそして阿久根市を好きになり、誇りをもってもらえるようさまざまな教育活動に取り組んできました。今後さらに郷土教育やキャリア教育に力を入れてまいりたいと思います。母校や阿久根市を愛する気持ちを育むことで、将来この地で働いたり、遠くから郷土阿久根のことを思っていてくれたりする大人に成長してほしいと思います。

市政のキャッチフレーズ「帰ってきたくなる 行ってみたくなる 東シナ海の宝のまち あくね」を目指し皆で進んでまいりましょう。

授業参観・学級PTAのご案内



2月26日(金)は本年度最後の授業参観・学級PTAです。ぜひご都合をつけて出席してくださいませようお願いいたします。

小学校の時期は、保護者の方との連携がとても重要です。お子さんの成長のため担任や学校はどんなことをしているのか、そのため家庭はどう協力していくか連携を図る必要があります。そのため、お子さんの学校での様子をどんどん見ていただきたいと思っています。そして学級担任とお子さんのことについて語ってみてください。



【い】の取り札